

調査ニュース

今月の注目点

～ 最高値更新が相次ぐ道内の経済関連統計 ～

道内景気の持ち直し基調が続く中、最近公表された経済関連統計や調査結果をみると、統計（もしくは調査）開始以降“過去最高値を更新”するケースが相次いでいます。雇用・賃金分野では「有効求人倍率」「就職率」などでの更新が確認できます（下表、①）。また、道内経済のけん引役として今後の成長が期待される「観光、IT・バイオ、食の輸出といった産業分野」に加え、「企業立地件数」の最高値更新も明るい材料です（同、②～⑤）。

過去最高値を更新した経済関連統計・調査結果の例（道内）

No	分野	項目	数値	時点等	公表日、()内は備考	公表元	
①	雇用・賃金情勢	有効求人倍率(パート含む常用)	1.04倍	2016年度	2017.4.26	北海道労働局	
		就職率	大学	94.1%	2017年3月末 (2017年3月卒業者)		2017.5.29
			短大	96.3%			
			専修学校	96.7%			
			高等学校	98.0%			
最低賃金(時間額)	786円	2016年度	(発効日:2016.10.1)	北海道労働局			
②	観光	総観光消費額	1兆4,298億円	2014年10月 ～2015年9月 (概ね5年毎の調査)	2017.5月 同上 (1人・1回の旅行当たり)	北海道 (経済部観光局)	
		訪日外国人来道者の観光消費額単価	17万8,102円				
		外国人入国者数	139万4,405人	2016年度	2017.5.25	法務省	
③	IT・バイオ産業	IT産業売上高	4,213億円	2015年度	2017.2.14	(一社) 北海道IT推進協会	
		バイオ産業売上高	631億47百万円	2015年度	2016.6.6	北海道経済産業局	
④	貿易	農畜産物(含む加工品)の輸出額	41億53百万円	2016年	2017.3月	財務省	
⑤	企業立地	企業立地件数	106件	2016年度	2017.5.30	北海道 (経済部産業振興局)	

(出所) 各種公表統計、発表資料をもとに道銀地域総合研究所作成

最近の道内経済動向	2
北海道の未来 シリーズ⑭	3
●醸造用ぶどうの栽培適地として注目される北海道 ～地域資源として広がりを見せる地元産ぶどうを用いた道産ワイン～	
地域発 シリーズ⑧	6
●冬のリゾート地として世界を魅了する“NISEKO”	
海外の窓 ～道銀 ユジノサハリンスク駐在員事務所だより～	8
●ますます目が離せない隣国～ロシア	



最近の道内経済動向

○道内景気は、観光入込客の増加に加え、個人消費・公共工事に持ち直しの動きがみられることなどから、道内景気全体としては持ち直し基調にある。

○先行きは、観光入込客の好調さ・個人消費の緩やかな持ち直し持続に加え、公共工事・設備投資の増勢が強まると予想され、道内景気全体として持ち直しテンポが高まろう。

※基調判断は、2017.6.9時点で入手可能な主要経済指標を参考とした（4月実績が中心）。

●個人消費は緩やかに持ち直している

4月の主要6業態別小売店の合計販売額（全店）は、前年比2.4%増と4カ月連続で前年実績を上回った。百貨店（同▲2.3%）が前年割れとなったものの、スーパー（同2.1%増）、コンビニエンスストア（同2.6%増）、ドラッグストア（同5.7%増）など他の5業態が前年実績を上回った。4月の乗用車新車販売台数（軽含む）は、同12.8%増と9カ月連続で増加。新型車・モデルチェンジ車の投入効果を主因に、普通車（同22.1%増）、小型車（同5.9%増）、軽自動車（同11.9%増）が揃って前年実績を上回った。

（注）主要6業態とは、百貨店、スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、及びホームセンターを指す。

●住宅建築は持ち直し基調、設備投資は持ち直しつつある、公共工事は緩やかに持ち直している

新設住宅着工戸数（4月）は、前年比21.7%増と2カ月ぶりに前年実績を上回った。持家（同3.3%増）は2カ月連続、貸家（同23.5%増）と分譲住宅（同59.5%増）は2カ月ぶりに前年実績を上回った。設備投資は、北海道財務局発表の法人企業景気予測調査（1-3月期）によると、2017年度上期の設備投資計画（全産業、含むソフトウェア、除く土地）が、前年同期比24.1%増と製造業のけん引により大幅な増加見通し（製造業：同2倍、非製造業：同▲18.5%）。公共工事請負金額（4月）は、前年比▲3.5%（1,467億1,900万円）と5カ月ぶりの減少となったものの、高水準の発注額が続いていることに伴い出来高ベースでは緩やかに持ち直している。

●生産は持ち直しの兆しがみられる

鉱工業生産（3月）は、前月比▲0.3%と2カ月ぶりに低下した。国内生産体制見直しにより「無線通信装置」が減産となった電気機械（同▲5.6%）など8業種が低下した。一方、台風被害復旧に伴い「護岸用コンクリートブロック」の需要が増加した窯業・土石製品（同6.8%上昇）、道内外の大型建設需要により「鉄骨、コンクリート補強用金網」が増産となった金属製品（同5.4%上昇）など8業種が上昇した。1-3月期では前期比0.6%上昇と3期連続の上昇となっており、持ち直しの兆しが見られる。

●輸出は下げ止まっている

4月の通関輸出額（速報値）は前年比2.1%増（721億円）と3カ月連続で前年実績を上回った。米国向けが減少した自動車の部分品（同▲37.1%）などが前年実績を下回ったものの、パナマ向けが増加した船舶（同5.9%増）、中国向けが増加した魚介類・同調製品（同21.5%増）などが前年実績を上回った。

●観光は拡大している

国内客が中心となる来道者数（4月、道外で入国手続き後に来道する海外客を含む）は、新幹線開業効果が一巡したものの、前年比0.8%増と4カ月連続で前年実績を上回った。一方、4月の外国人入国者数は、同29.3%増と11カ月連続で前年実績を上回り、高水準を維持している。

●雇用情勢は回復している

4月の有効求人倍率（パート含む常用）は前年比0.08ポイント上昇の1.00倍と、87カ月連続で前年実績を上回った。なお、4月の新規求人数（同）は前年比▲3.1%と、建設業を除いて総じて減少し、6カ月ぶりに前年割れに転じた。昨年（北海道新幹線開業に伴う飲食サービス業をはじめとする求人の一時的な増加）の反動などが影響した模様。

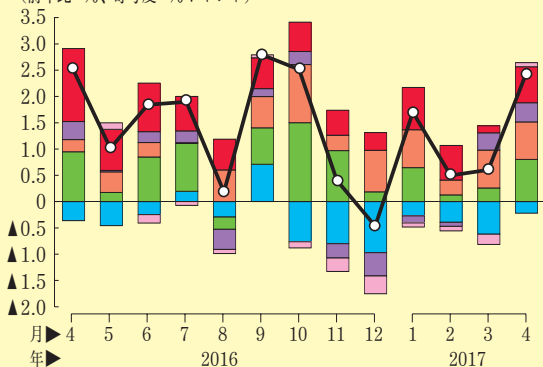
主要6業態別小売店の動向

主要6業態別小売店の合計販売額（4月）は、4カ月連続で前年実績を上回った。閉店の影響から百貨店が昨年10月以降前年実績を下回っているが、スーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストアが下支えとなり、全体としては緩やかに持ち直している。

寄与度

- 百貨店
- コンビニエンスストア
- ドラッグストア
- スーパー
- 家電大型専門店
- ホームセンター
- 合計（前年比）

（前年比・%、寄与度・%ポイント）



（出所）経済産業省、同北海道経済産業局の発表資料を基に道銀地域総合研究所作成

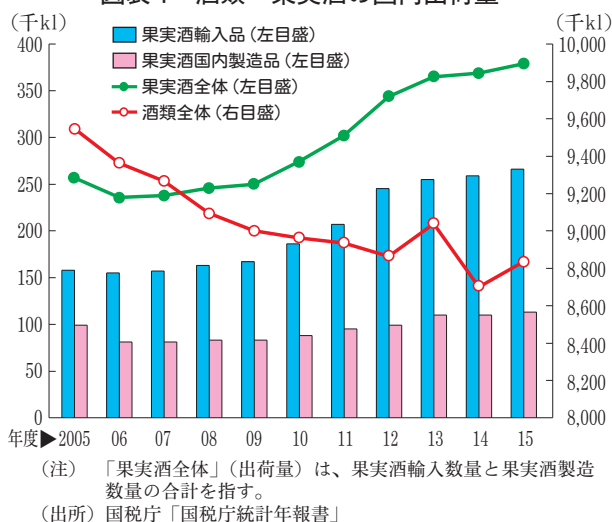
醸造用ぶどうの栽培適地として注目される北海道 ～ 地域資源として広がりを見せる地元産ぶどうを用いた道産ワイン～

道外・海外のワイン醸造事業所（以下、ワイナリー）が道内に進出するケースが相次いでいます。ワイナリーでは自社管理農場で、醸造用ぶどう栽培に取り組む事例が確認されます。そこで、本稿では、醸造用ぶどうの栽培地としての北海道のポテンシャルについて、考察していきます。

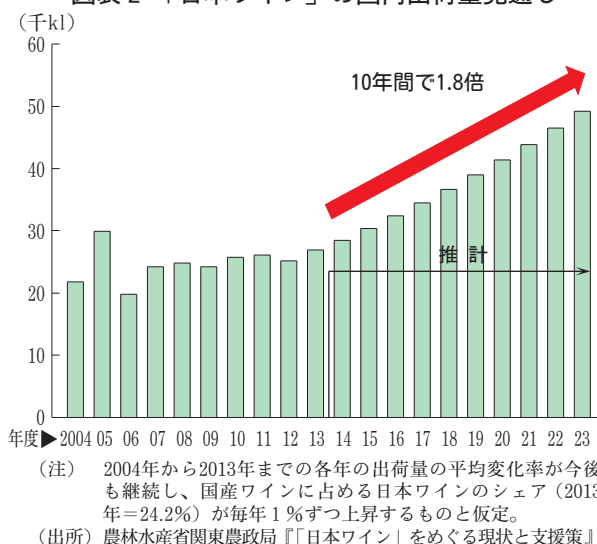
1. 国内ワイナリーが抱える「国産原料の調達力強化」という課題

2015年の酒類国内出荷量が2005年比▲7.5%と減少基調で推移する中、ワインを中心とした果実酒出荷量は輸入品・国内製造品ともに、着実に増加しています（図表1）。ただし、国内で製造されるワインにおいて、使用原料に占める国産ぶどうの割合は26.6%にとどまっている他、国産ぶどうのみを使用して製造される「日本ワイン」は、国内製造品のうち18.4%しかありません。

図表1 酒類・果実酒の国内出荷量



図表2 「日本ワイン」の国内出荷量見通し

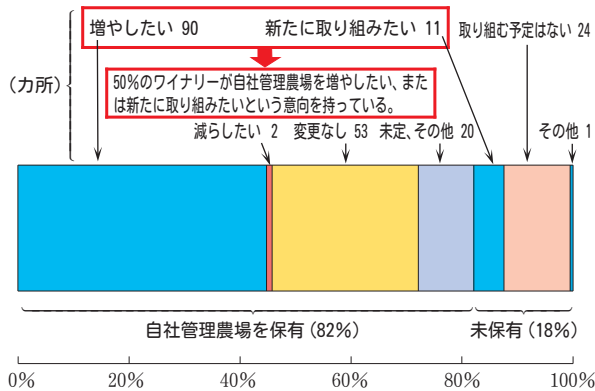


農林水産省関東農政局（以下、関東農政局）の推計によれば、日本ワインの国内出荷量は2013年度からの10年間で1.8倍に拡大する見通しであり、日本ワインの人気は着実に高まりつつあると言えます（図表2）。こうした中、国内ワイナリーでは、「国産醸造用ぶどうの調達力強化」を課題に挙げる声が大きくなっています。

関東農政局が国内ワイナリー201カ所から回答を得たアンケート調査結果によると、ワイナリーが調達する原料の約半分は、契約栽培の形で国内ぶどう生産者から調達していることがわかります。ただし、ワイナリーからは、「農家の高齢化や減少が進んでいる」「欲しい品質の原料が確保できない」「醸造専用品種など新たな品種を作る農業者がいない」など、契約栽培での調達による課題が挙げられています。そして、回答全体の5割にあたるワイナリーが、「すでに保有している自社管理農場をさらに増やしたい」、又は、「新たに自社管理農場を保有したい」という意向を示しています（図表3）。その理由としては、「自社栽培によるブランド力の向上」「より高品質なぶどう生産」「原料ぶどうの安定調達」などが挙げられており（図表4）、自社栽培によって品質・数量両面で国産ぶどうの調達力強化を図りたいワイナリーが多い実情が明確となっています。

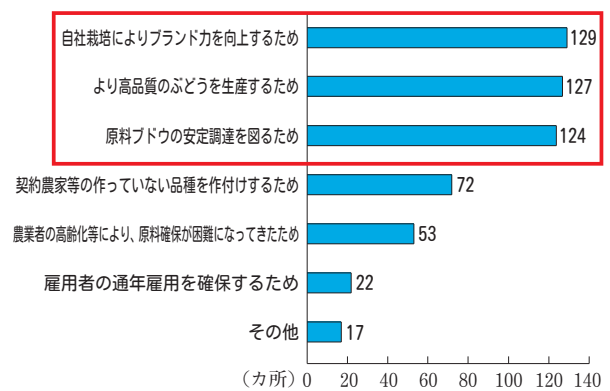
こうした中、北海道で近年、ワイナリーが急増しています。2016年1月時点のワイナリーは33カ所。10年前と比べて20カ所の増加。直近3年間だけで10カ所も増加しています。最近では、フランスの老舗ワイナリーが函館市内でのワイナリー開設を表明するなど、国内のみならず海外からも北海道でのワイナリー開設（含む醸造用ぶどうの栽培、調達力強化）に関心が高まっています。

図表3 自社管理農場の保有状況と将来の展開意向



(注) 都道府県、業界団体等からの情報を元に、2015年7月時点で醸造用ぶどうを利用していることを確認したワイナリー約230カ所に対し、2014年産のぶどうの生産、買取等の状況を聞き取り、201カ所から回答を得た。
 (出所) 農林水産省関東農政局「醸造用ぶどうの生産、流通等の実態について」

図表4 自社栽培に取り組む理由(複数回答)



2. 醸造用ぶどうの生産地としてみた北海道における「変化」とは

周知のとおり、国内の食料供給基地として重要な役割を果たす北海道では、醸造用ぶどうの栽培実績も増えてきており、その収穫量は、長野県、山梨県に次ぐ第3位の立ち位置となっています。

醸造用ぶどうの生産地としてみた道内の栽培環境は、「積雪寒冷地であるため、寒さに弱い品種を栽培するのは難しい」という特徴(短所)が指摘できます。一方で、道外(本州)と比べた場合、「梅雨が無いなど、降水量が比較的少ないため、病原菌の繁殖リスクを抑制できる」「昼夜の寒暖差が大きいので、光合成で蓄積した糖분을十分蓄積することができる」といった長所も存在します。

こうした環境下、赤ワイン用では「ツバイゲルトレーベ」、白ワイン用では「ケルナー」などが、冷涼な気候でも栽培可能な主力品種として大きなシェアを誇っています。もっとも最近では、国内外で人気が高い品種を中心に栽培品種に拡がりが見受けられるようになりました(図表5)。その代表例が「ピノ・ノワール」というフランス産の品種です。

「ピノ・ノワール」は、世界一高価と言われている「ロマネ・コンティ」をはじめ、様々な有名ワインの原料となっている醸造用ぶどう品種です。近年、北海道ではピノ・ノワールの栽培面積が急拡大。それに伴い道内における栽培面積の国内シェアは、およそ6割を占めるまでになりました(図表6)。

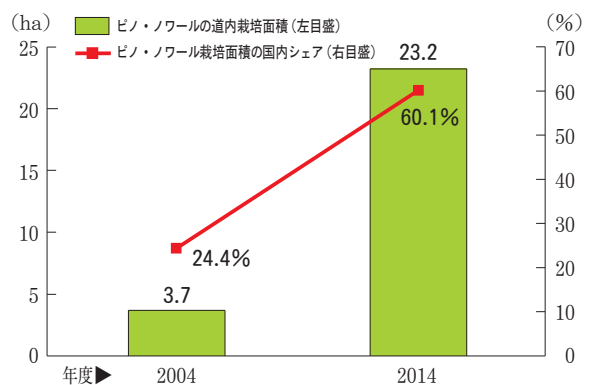
従来は、ピノ・ノワールのように地中海性気候に属する地域で開発・栽培されてきた醸造用ぶどう品種は、寒冷地での栽培が難しいとされてきました。実際、ピノ・ノワールも、道内での栽培は当初、失敗が続いていたようです。ただ、気候変動の影響によって1998年以降、ぶどうの生育期間内及び季節別に必要な平均気温・積算温度などが確保されつつある状況が明らかとなってきました(注1)。

図表5 道内の品種別栽培面積(上位10品種)

品種名	色	国	2014年		2004年	
			順位	栽培面積 (ha)	順位	栽培面積 (ha)
ケルナー	白	独	1	55.3	3	58.5
ツバイゲルトレーベ	赤	奥	2	40.6	4	43.1
セイベル13053	赤	仏	3	30.4	1	66.3
ミュラー・トゥルガウ	白	独	4	26.6	2	61.8
ピノ・ノワール	赤	仏	5	23.2	11	3.7
バッカス	白	独	6	22.3	6	26.5
山幸	赤	日	7	15.1		
シャルドネ	白	仏	8	14.9	14	2.5
セイベル5279	白	仏	9	12.2	5	35.0
清見	赤	日	10	11.6		

(注) 上記は加工専用品種のみを掲載。ワイン用の原料としてはそのほかに、生食用品種(または加工兼用品種)などが用いられるケースもある。
 (出所) 農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

図表6 ピノ・ノワールの道内栽培面積と国内シェア



(注) ピノ・ノワール栽培面積の国内シェアは、ピノ・ノワールの国内栽培面積に占める同品種における道内栽培面積の割合を指す。
 (出所) 農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

更に、地方独立行政法人北海道立総合研究機構によって、高級醸造用として一つの目安となる糖度20%を超えるぶどうの収穫実績とその条件面（積算温度、日照時間等）を明示した研究・生育成果も発表されました（図表7）。

こうした気候変動を踏まえた栽培実績、栽培環境の調査研究成果に加え、近年ピノ・ノワールを醸造した道産ワインで多くのファンを獲得するワイナリーが出現。ワインの研究を行い、醸造用ぶどう事情について詳しい北海道大学農学研究院の曾根輝雄教授からは、「北海道の醸造用ぶどうは質が良く、特に酸味が良い。冷涼な気候がもたらす独特の品質で、これは他の土地では出にくいものだろう」と、また、北海道庁でワイン振興に携わってきた株式会社アミノアップ化学の小野悟参与（前・北海道農政部長）からは、「気候変動によって気温が上がり、酸味が不足する産地が増えている中、冷涼な北海道で栽培される醸造用ぶどうは、おいしい酸を持っており、フルーティーさあいまって、世界的に評価されるワインを醸造できる可能性がある」との指摘もごさいます。

「高品質な銘柄品種を原料として、個性的で付加価値の高いワインを醸造したい」というワイナリーのニーズと合致し、道内におけるワイナリー増加（含む自社管理農場の開設）につながっていると考えられます。

（注1）『広田知良ら「気候変動による北海道におけるワイン産地の確立－1998年以降のピノ・ノワールへの正の影響－」、生物と気象（2017）』などを参照。

3. 貴重な地域資源へと変貌を遂げる「道産ワイン」

国産ぶどうを原料とした「日本ワイン」のブランド保護を目的とした表示ルールの改正が、2018年10月30日からスタートします（注2）。輸入原料を一部でも使用した国内製造ワインは、表ラベルに地名や品種等の表示ができなくなるため、今後は輸入原料から国産原料へのシフト、産地ブランドの醸成、などが期待されます。同改正とは別に、2015年10月30日からは、産地名が有するブランド価値を保護する仕組みである「酒類の地理的表示制度（通称：GI）」がスタートしました（注3）。北海道では、道産ぶどうを原料とした道産ワインにのみ「原産地：北海道」と表示できるよう、道内21カ所のワイナリーでつくる「道産ワイン懇談会」が本年1月、同制度に基づく申請を実施しました（2017年6月1日現在：国税庁にて審査中）。国内外に向けて高品質な醸造用ぶどうや道産ワインをアピールするための手段として活用が期待されます。

北海道庁においても、今年度から3年間、醸造用ぶどうの生産拡大に向けたサポートを強化する事業（注4）を打ち出しました。「全国的に不足する苗木の確保対策」「醸造用ぶどうの生産拡大に向けた単収向上対策」などの取組を実施するなど、行政によるバックアップ力が強まっています。

醸造用ぶどうは、気候・土壌などの生育環境、栽培方法などによって品質・風味に違いが生じます。そのような原料を用いて醸造されるワインは、ワイナリー毎に微妙に評価が分かれることから、奥の深い嗜好品であると言えます。品質向上が目覚ましい道産醸造用ぶどうを原料とした道産ワインは、地域の特徴、作り手の想いが目一杯詰まっている「貴重な地域資源」へと変貌を遂げつつあるのです。

（川崎 優史）

（注2）本制度上、国内で製造していても輸入果汁などの海外原料を使用したワインについては、①表ラベルに、濃縮果汁使用、輸入ワイン使用などの表示を義務付け、②表ラベルに産地や品種、年号の表示は不可。

（注3）酒類の特性やその産地との繋がり等について明確化した産地からの申立てに基づき、国税庁長官の指定を受けることで産地名を独占的に名乗る（産地内で生産されること、生産基準を満たすことが条件）ことができ、地域の共有財産である「産地名」の適切な使用を促進する制度。なお、農林水産物食品など酒類以外の産品に係る地理的表示の保護については農林水産省が所管している。

（注4）醸造用ぶどうの需要拡大が見込まれる中、苗木確保や栽培技術の向上など醸造用ぶどうの生産拡大に必要な取り組みを関係機関と連携しながら総合的にサポートし、醸造用ぶどうの生産拡大・品質向上を図る事業。2017年度から2019年度まで実施予定。

図表7 ピノ・ノワールの地域適応性検証結果

研究成果名：高級醸造用ぶどうの本道における糖度から見た適応性と密植の効果						
研究の目的：高級醸造用ぶどう「ピノ・ノワール」など供試3品種の本道での適応性を明らかにするとともに安定生産可能な栽植密度や整枝法を示す。						
（成果概要）		地域ごとの気象条件と果実品質（2013～2016平均）				
<ul style="list-style-type: none"> 各産地で醸造原料として必要な糖度18%を超えるぶどうができ、高級醸造用として目標となる20%を超える場合も多かった。 気象条件を考えると、糖度18%以上が期待される条件は日照時間460時間以上、積算温度1,170℃以上で、糖度20%が期待される条件は同550時間以上、同1,230℃以上であった。 	栽培地		上川南部	後志	南空知	
	例数		4	12	6	
	気象条件	日照時間	満開～収穫	499	543	561
		積算温度	4月～収穫	1,219	1,243	1,267
	収穫日		10月6日	10月11日	10月14日	
	満開期から収穫日の日数		97	99	99	
糖度（Brix%）		19.2	19.8	20.9		

（注） 上図では成果概要の一部及びピノ・ノワールの具体的データを一部抜粋したもの

（出所）地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部「高級醸造用ぶどう品種の地域適応性と高品質栽培法、ニーズに即した高品質ぶどうの品種選定と安定生産技術の開発（2016年度成績概要書）」をもとに道銀地域総合研究所作成

冬のリゾート地として世界を魅了する“NISEKO”



ここはまるで外国

私は昨年12月、当行が新たに開設したNISEKO事務所の所長として当地に着任しました。仕事始めにニセコ観光圏^(※1)(以下、NISEKO)の中心地である倶知安町ひらふ地区を訪れた印象は「ここは本当に日本なのか。まるで外国にいるみたい!」の一言に尽きるものでした。地元の会社へアポイントの電話をかけると、まず聞こえてくる声は「HELLO!」ばかり。NISEKOでは、リビングやキッチン・家電機器などを完備したコンドミニウムタイプの滞在型宿泊施設が主流です。その開発計画から開業後の物件管理まで、①企画・開発を行うデベロッパー、②コンドミニウムを投資家に販売する不動産仲介業者、③買い手のついた物件を管理し、オーナーの非滞在時に観光客を集客する旅行管理業者、など様々な事業者が関与していますが、これらは、外国人が経営する会社が殆んどです。また、ホテル従業員や店員などの大半は、ワーキングホリデーで働きながらNISEKOの冬を楽しんでいる外国人なのです。NISEKOでは、公共施設や店舗での英語表記は当たり前。スーパーやコンビニでは、外国人が好む食材を豊富に取り揃えています。

(※1) ここでは、蘭越町、ニセコ町、倶知安町にまたがる地域を指している。

世界の富裕層から注目されるNISEKO

NISEKOの人気の高まったのは、当地の“パウダースノー”に注目したオーストラリア人の口コミがきっかけと言われています。①世界の有名スキーリゾートと比べ、最寄りの国際空港からの移動時間が2時間程度と短いこと(図表1)、②山の標高が低く宿泊施設からゲレンデまでが近いいわゆる「スキーイン・スキーアウト」の立地であること、なども人気を確立させた要因と言えるでしょう。

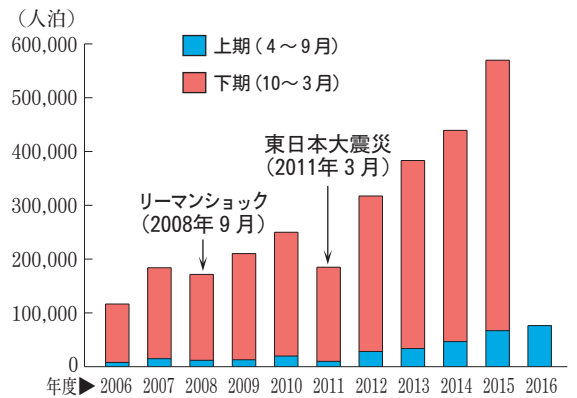
図表1 最寄りの国際空港からの所要時間

国	リゾート地	国際空港名	所要時間
日本	NISEKO	新千歳	2時間10分
スイス	サンモリッツ	チューリッヒ	3時間45分
アメリカ	アスペン	デンバー	5時間00分
フランス	シャモニー	ジュネーブ	6時間30分

(出所) 北海道後志総合振興局地域政策課作成資料より

NISEKOを訪れる外国人観光客は、2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災による一時的な落ち込みを除けば順調に増加(図表2)。当初はオーストラリア人が中心でしたが、近年では世界各国にすそ野が広がり、世界の富裕層から注目される高級スキーリゾート地となっています。

図表2 NISEKOにおける外国人宿泊者数の推移(延べ数)



(注) ここでいう“NISEKO”は蘭越町、ニセコ町、倶知安町にまたがる地域。(出所) 北海道経済部の発表資料を基に道銀地域総合研究所作成

今後も高級ホテルの開業が目白押し

昨年12月にオープンした高級ホテル「綾ニセコ」は、各部屋の分譲価格が数億円と高額だったにもかかわらず、約70室が販売開始から短期間で完売。最上階の部屋は6億5千万円で売却されたと聞きます。所有者は自らの滞在日以外は管理業者を通じて宿泊施設として貸し出し、その賃料収入を冬季の滞在資金に充てているようです。賃料は高額なものが多いようですが季節による繁閑の差が大きいため、投資利回りは札幌と比べて特別高いわけではありません。しかし、全国一となった地価上昇率が示すように、海外投資家からの需要は依然として高い状況が続いています。中には、購入後数ヶ月で購入時の2割以上高い価格で転売したケースもあるようです。

NISEKOでは昨シーズン、少雪や宿泊料金高騰などを背景に、外国人観光客が前年比1~2割程度減少しました。もっとも、不動産投資、リゾート開発のスピードは減速することなく、既に多数のホテルが立ち並んでいる倶知安町ひらふ地区の“ひらふ坂”では2019年までの開業に向けて3棟の高級ホテルが建設中です(写真1)。また、倶知安町花園地区では2019年に「パークハイアットホテル」が、ニセコ町東山地区では2020年に「ザ・リッツ・カールトンホテル」が開業予定です。宿泊施設以外でも、商業施設・

ますます目が離せない隣国～ロシア

北海道銀行ユジノサハリンスク駐在員事務所
 所長 達田 暢

今回は、昨年12月のプーチン大統領の訪日を受け、ビジネスの着目点等について執筆させていただきました。大統領訪日以降の主な動きをおさらいすると図表1の通りです。

図表1 プーチン大統領訪日以降の主な動き

3月20日	日露外相会談 外務・防衛閣僚協議（2+2）
4月27日	日露首脳会談 （モスクワ）
5月31日	共同経済活動調査団による サハリン訪問、州政府との会合
6月～7月 （予定）	共同経済活動調査団による 現地派遣（日程は今後調整）
9月6,7日	東方経済フォーラム （ウラジオストク）

（出所）当事務所作成

共同経済活動に向けて

直近では、長谷川首相補佐官が約30名の訪問団とともにサハリンを訪問し、5月31日には、サハリン州コジェミャコ知事との会談の他、約70名のロシア側の官民関係者との拡大会合や、各分野での分科会が開催されました。

日本でも報道されましたが、共同経済活動の分野は、漁業・農業・観光・鉱業・医療・等々が挙げられています。

本稿は、まさに上記ミッションの直後に執筆しています。記者会見では6月下旬～7月初旬に現地調査を行う旨が発表されました。本稿が発行される頃には、さらに具体的に見えてくるのではないのでしょうか。

当地サハリンの報道もご紹介します（図表2）。

図表2 サハリンでの主な報道（知事発言）

● 2016年、サハリン州から日本への輸出額が40億ドル以上に（サハリン州輸出額の約40%）。
● 石油・ガス複合体「サハリン1」「サハリン2」に日本最大手企業の参画を得て大規模なプロジェクトが実現。
● サハリン産の液化天然ガス（LNG）の大部分が、日出ずる国（原文直訳）に輸出。
● 隣接する北海道との友好と経済協力に関する協定の下、多くの産業で実りある協力。

（注）日本でも報道されている事項は除く。
 （出所）当事務所作成

コジェミャコ知事は、サハリン州が、ロシアと日本の関係で特別な役割を果たしていることを強調されました。

サハリンと北海道

私は2015年10月にサハリンに赴任しました。赴任後まもなく、コジェミャコ知事とお会いしお話を伺う機会に恵まれ、“遠くの親戚より近くの隣人”というロシアの諺を紹介され、北海道への思いを語られたことを鮮明に覚えています。この「遠く・近く」は、物理的、心理的、両方の意味を持つのでしょうか。

ロシアと日本は近いです。サハリン最南端のクリリオン岬から、宗谷海峡をはさみ43km南には、北海道最北端の宗谷岬があります。また、ロシア人（特にサハリンの人）は日本人に好意的です。

ロシア人と日本人の違い

一方、日本人からみたロシア（人）はまだ遠い（近寄り難い）イメージかもしれません。そこで是非ご理解いただきたいことがあります。

一つは、「笑う」ことへの価値観の違いです。日本には「笑う門には福来る」という諺があり、ロシアには「無意味な笑いは馬鹿のしるし」という諺があります。ロシア人が無愛想で笑顔が少ないイメージは確かにありますが、作り笑顔は礼儀に反する、偽善ととらえられる面もあります。愛想笑いは誤解されることもあります。

二つめは、準備と本番の何れを重視するか、という点での違いです。ロシア人は本番（結果）重視です。ロシアと日本を結び付けるビジネスサポートをしていて、日本人の緻密さ（用意周到さ）が逆に勿体ないと感じることがあります。

もちろん共通の価値観も沢山あります。相手を知り自分を知ることは、大切です。私は日露の“心の通訳”を目指してまいります！

調査ニュース（2017・7）NO.391

発行 株式会社 北海道銀行（ホームページhttp://www.hokkaidobank.co.jp）
 企画・編集 株式会社 道銀地域総合研究所 経済調査部（照会先：黒瀧）
 〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地 道銀別館ビル
 TEL (011) 233-3562 FAX (011) 207-5220
 〈本誌の無断転用、転載を禁じます〉